



2018年10月22日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ホ ッ ト リ ン ク
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 内 山 幸 樹
 (コード番号：3680 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 財 務 本 部 本 部 長 大 塚 義 人
 (TEL. 03-6261-6931)

連結子会社との会社分割（簡易吸収分割）及び連結子会社の異動を伴う株式譲渡並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年10月22日、e-mining事業を中心としたリスク関連事業を当社の完全連結子会社である株式会社リリーフサイン（以下「RS」）に承継し（以下「本吸収分割」）、RSの発行済株式の過半数以上を有限会社エスフロント（以下「SF」）に譲渡する取引（以下「本株式譲渡」、本吸収分割と併せて、以下「本件取引」）を実施することを決定し、10月23日においてSFとの間で株式譲渡契約を締結することになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、これに伴いまして特別利益を計上する見込みとなりましたので、本年8月14日に開示した2018年12月期（2018年1月1日～2018年12月31日）の通期業績予想の修正についても併せてお知らせいたします。

なお、本吸収分割は、当社の完全子会社との間の簡易吸収分割であるため、本吸収分割に関する事項については開示事項・内容を一部省略して開示しています。

記

I. 本件取引の概要

1. 本件取引の目的

2018年度よりホットリンクが本格的にマーケティング領域に事業をフォーカスする方向で舵を切っております。

一方で、リスクモニタリング事業は、2017年12月よりSFと人的資本関係があるマスターピース・グループ株式会社（以下「MP」）との間で協業を開始しております。MPは中国を中心としたアジア全域での広範な顧客網を保有しており、当社はこのような販売網を駆使して中国サイトリスク発見サービスを展開するMPとの間でシナジーを見込むことができます。そこで、リスクモニタリング事業を譲渡することが最適と考え、吸収分割及び株式譲渡の決定に至りました。

2. 本件取引の日程

本件取引の日程は以下のとおりです。なお、本吸収分割は、会社法第784条第3項に定める簡易吸収分割に該当するため、吸収分割の承認に関する当社の株主総会は開催しません。

取 締 役 会 決 議	2018年 10月22日
吸 収 分 割 契 約 締 結 日	2018年 10月22日
吸 収 分 割 効 力 発 生 日	2018年 12月1日
株 式 譲 渡 契 約 締 結 日	2018年 10月23日
株 式 譲 渡 実 行 日	2018年 12月3日

II. 本吸収分割について

1. 本吸収分割の要旨

- (1) 本吸収分割の方式
当社を吸収分割会社とし、RSを吸収分割承継会社とする吸収分割（簡易吸収分割）です。
- (2) 本吸収分割に係る割当ての内容
本吸収分割は、当社が当社の完全子会社との間で行なうものであるため、RSから株式の割当、金銭その他の財産の交付は行なわれません。
- (3) 本吸収分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い
該当事項はありません。
- (4) 本吸収分割により増減する資本金
当社の減少すべき資本金はありません。
- (5) 承継会社が承継する権利義務
本吸収分割に際して、効力発生日における承継対象事業に関する資産及び承継対象事業に付随する権利義務のうち、本吸収分割契約において定めるものを承継します。
- (6) 債務履行の見込み
RSが、本吸収分割の効力発生日以降において負担すべき債務について、履行の見込に問題はないと判断しています。

2. 本吸収分割の当事会社の概要

	分割会社（当社）	承継会社（RS）	
(1) 名称	株式会社ホットリンク	株式会社リリーフサイン(注)	
(2) 所在地	東京都千代田区富士見一丁目3番11号	東京都千代田区富士見一丁目3番11号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 内山幸樹	代表取締役 檜野安弘	
(4) 事業内容	SNSマーケティング及びソーシャルリスク対策の領域におけるソリューション、SaaS、ソーシャル・ビッグデータ販売などのサービスを提供	インターネットを利用する情報提供サービス、情報システム及び通信ネットワークの企画、設計、運用	
(5) 資本金	2,357百万	7百万	
(6) 設立年月日	2000年6月15日	2011年4月28日	
(7) 発行済株式数	15,646,200株	79,200株	
(8) 決算期	12月31日	12月31日	
(9) 大株主及び持株比率	内山幸樹 16.31% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 9.21% GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL 3.69% 資産管理サービス信託銀行株式会社 3.21% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 2.47% MSIP CLIENT SECURITIES 2.20% BNY FOR GCM CLIENT ACCOUNTS (E)BD 2.06% モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社 2.06% 中村壯陽 1.59% 中村二三夫 1.59%	株式会社ホットリンク 100%	
(10) 直近事業年度の財政状態及び経営成績（2017年12月期）	分割会社（当社）〔連結・IFRS〕	承継会社（RS）〔日本基準〕	
	純資産	2,610百万円	8百万円
	総資産	4,591百万円	8百万円
	1株当たり純資産	198.67円	112.19円
	売上高	2,583百万円	—
	営業利益	125百万円	—
	税引前利益（経常利益）	94百万円	—
	親会社株主に帰属する当期純利益	141百万	—
	1株当たり当期純利益（希薄化後）	11.19円	—

(注)株式会社リリーフサインは、2018年1月1日に株式会社ホットスコープから商号変更しております。

3. 分割又は承継する事業部門の概要

(1) 分割又は承継する部門の事業内容

リスクモニタリング事業

(2) 分割又は承継する部門の経営成績（2017年12月期）

	リスクモニタリング事業(A)	当社連結会計(B)	比率 (A/B)
売上高	259百万円	2,583百万円	10.0%
売上総利益	109百万円	1,211百万円	9.0%
資産	8百万円	4,591百万円	0.1%
負債	—	1,981百万円	—

4. 本吸収分割後の状況

当社及びRSの名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期いずれも本吸収分割による影響はありません。

5. 今後の見通し

本吸収分割は、当社及び当社の完全子会社を当事者とするものであるため、当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

III. 本株式譲渡について

1. 譲渡する会社（対象会社）の概要

前記「II. 本件会社分割について」における「2. 本吸収分割の当事会社の概要」の「承継会社」欄をご参照ください。

2. 株式譲渡の相手

(1) 名 称	有限会社エスフロント
(2) 所 在 地	東京都港区西麻布一丁目8番12号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役：佐藤 修
(4) 事 業 内 容	経営コンサルティング
(5) 資 本 金	300万円
(6) 設 立 年 月 日	1995年7月21日
(7) 純 資 産	(注)
(8) 総 資 産	(注)
(9) 大株主及び持株比率	(注)
(10) 上場会社と当該会社の関係	
資 本 関 係	両社の間には記載すべき資本関係はありません。 また、両社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
人 的 関 係	両社の間には記載すべき人的関係はありません。 また、両社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
取 引 関 係	両社の間には記載すべき取引関係はありません。 また、両社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。
関連当事者への該当状況	両社は、相手方の関係当事者には該当しません。 また、両社の関係者及び関係会社は、相手方の関係当事者には該当しません。

(注) 守秘義務により記載を控えさせていただきます。

3. 譲渡株式数及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	普通株式 79,200株 (議決権の数：79,200個) (議決権所有割合：100%)
(2) 譲渡株式数	普通株式 49,896株 (議決権の数：49,896個)

(3) 譲渡価額	約378百万円
(4) 異動後の所有株式数	普通株式 29,304株 (議決権の数：29,304個) (議決権所有割合：37%)

4. 特別利益の計上について

本株式譲渡実施により、当社の2018年12月期決算においてIFRS会計処理により特別利益(383百万円)が発生する見込みであります。

なお、この数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

IV. 通期業績予想の修正について

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2018年1月1日～2018年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	当期利益	親会社株主に 帰属する 当期利益	基本的1株 当たり 当期利益
前回発表予想(A)	3,229	84	30	29	2.34
今回修正予想(B)	3,229	467	234	233	16.33
増減額(B-A)	-	383	204	204	-
増減率(%)	-	455	680	703	-
(参考) 前期連結実績 (2017年12月期)	2,583	125	138	141	11.31

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 修正の理由

事業年度は継続しており、依然として為替の影響等の懸念材料はあるものの、当社連結子会社であるRSの株式を譲渡したことによる特別利益383百万円(IFRS)の影響を考慮し、当期の連結業績を修正するものであります。

以上